

広報

かわごえ環境ネット

2022年5・6月号 No.185

この雑木林は(仮称)川越市森林公園計画地です。福原地区の川越南文化会館(ジョイフル)が入口で、2~3kmほどの散歩道が3コースあり、春夏秋冬気持ちよく散策できる癒しの森です。保育園児から高齢者まで多くの市民が訪れています。また、自然もすばらしく、植物は300種以上、昆虫もチョウやカブトムシなど多くの種が生息しています。

(2011.4.20 賀登環撮影)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【報告】第20回かわごえ環境フォーラム：2-3

【コラム】「社会と環境について思うこと(19)」「自然を訪ねて(3)」：4

【参加者募集】「川越市内の川の一斉水質調査」「夏の郊外クリーン活動」：5

かわごえ環境ネットからのおしらせ：6

会員からのおしらせ：7

イベントカレンダー(2022年5月1日~6月30日)：8

残したい川越の風景(3)「(仮称)川越市森林公園計画地」



【報告】第20回かわごえ環境フォーラム

開催概要

2月27日(土) 9:30-15:10 にウェスタ川越活動室1・2において、川越市市制施行100周年記念事業「第20回かわごえ環境フォーラム」を開催しました。

昨年に続いて新型コロナウイルス感染拡大の状況で実施されたため、オンラインで会場の様子を同時配信しながらの実施となりました。会場での参加者は、

午前の部 29名、午後の部 19名でした。

以下に午前の部と午後の部の詳細を掲載いたします。各部についてYouTubeライブの録画配信をご覧ください。また、行事に合わせて発行した「かわごえ環境活動報告集」をPDFファイルで閲覧できます。かわごえ環境フォーラムホームページをご覧ください。

なお、本行事の開催にあたっては、

川越市の後援、パイオニア株式会社川越事業所、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、初雁興業株式会社の4社の協賛をいただきました。まことにありがとうございました。(小瀬博之)



かわごえ環境フォーラム
(<https://forum.kawagoekankyo.net>)

午前の部「かわごえ環境活動報告会」

午前の部「かわごえ環境活動報告会」では、8件の報告がありました。

(1) ふくはら子どもエコクラブ「環境、文化、農業のつながりから多面的な体験活動の実践」: 森のキャンプ、落ち葉はき、不老川で生き物調査や石のダムづくりなど楽しそうな活動で盛りだくさんの報告。

(2) 過昌司(福原水と緑の会): 農家や子どもエコクラブと協力して活動。伝統のくずはきを3か所の合計1haの雑木林で9t越えの落ち葉を集め、循環型農業支援として農家の堆肥場に運搬。下赤坂ふるさと緑の景観地での再生事業・生き物調査など。

(3) 増田純一(代理発表:小瀬博之、NPO法人かわごえ里山イニシアチブ)「人々が繋がり、環境に優しい地域づくり」: 山田・福田地区で農家と非農家が連携して人と生き物が共生する環境保全型農法で、米作りやマコモ栽培に取り組んでいる。

(4) 丸岡巧美・成川正行・長谷川清(環境製品評価研究協会)「太陽光発電システムの導入と評価」: 太陽光発電は

CO₂削減に重要な役割を果たすが、その実態と課題などの検証報告。

(5) 山中和郎(木びっこの会):「(仮称)川越市森林公園計画地におけるナラ枯れの感染状況」: 2020年頃から林内にナラ枯れ感染木が現れはじめ、その後急速に増加した。その間の調査や防除の方法を模索、感染木の処理などの報告。

(6) 福原時夫(埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部)「伊佐沼の鳥類調査の報告」: 1983年から40年近くになる会の伊佐沼野鳥観察会の振り返り。現在も年間50種くらいの確認があるという。

(7) 増田知久(かわごえ環境ネット)「社会環境部会を中心とした活動」

本会社会環境部会の活動概要を報告。

(8) 賀登環(かわごえ環境ネット)「自然環境部会を中心とした活動」

本会自然環境部会の活動概要を報告。

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

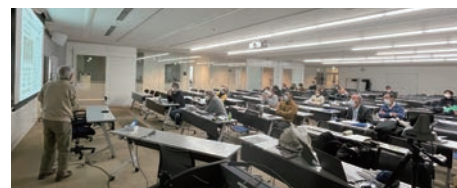
最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)

最後に、今回発表予定であった大久保^{まさる}氏が1月に急逝されました。これまでのキノコに関する貢献に感謝の意を表しました。詳しくは録画配信と報告集をご覧ください。(賀登環)



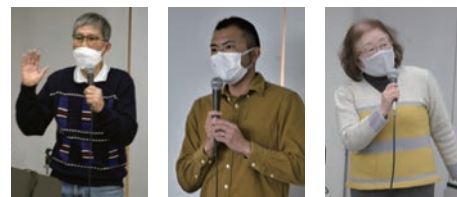
午前の部 会場の様子



(1) ふくはら子どもクラブ (2) 過さん



(3) 小瀬 (4) 丸岡さん (5) 山中さん



(6) 福原さん (7) 増田 (8) 賀登

午後の部 講演会「コミュニティに根付いたかわごえ暮らし」(講師:荒木牧人さん)

講演者に荒木牧人さん(建築設計事務所 mao 代表/株式会社 80%代表取締役/三輪駄菓子屋すいすい)を迎え、設計事務所やリノベーションまちづくりの活動を通して感じた自分らしい生き方や、駄菓子屋、他にも川のクリーン活動を通して人との関係構築や環境問題へのアプローチについてお話いただきました。

講演概要

①建築士としてのライフワークは、「ヒートショック撲滅」

建築設計事務所 mao では、新築設計や部分改修、耐震補強など日常の仕

事の中でも、建物内部の温度変化を抑える断熱診断についてお話いただきました。特に、冬場の浴室内におけるヒートショック(急激な温度変化で身体がダメージを受け、最悪死に至る)は、高齢者ほど頻度が高く、ヒートショックによる死者数は、交通事故や熱中症による死者数をはるかに上回ります。だからこそ、家の中の温度差を小さくするよう断熱材の効果や二重窓の効果について事例を紹介してくれました。

②株式会社 80%でのぼくらの活動は狼煙!次世代のロールモデルになる

2016年に川越市が主催した「まちづ

くりキャンプ in 川越」で知り合った3人の仲間と株式会社 80%をその年の12月に設立。異業種4人が本業のかたわらで、地域の課題を解決することをめざした活動として、旧大工町長屋を飲食の場としてリノベーションしました。

昭和30年代に建てられた長屋を、仲間や職人らと時間をかけながらリノベーションしていく様子を写真や動画とともに紹介いただきました。

長屋を中心に半径200mというスモールエリアで地域の課題解決の活動をする。補助金に頼らない活動にすること。このコンセプトでできる人が

できることをする、その歩みで、隣接するもう一つの長屋のリノベーションの事例やこの活動に共感する人たちのリノベーションなど活動の広がりを紹介いただきました。

③移動式三輪駄菓子屋では、子どもたちここで生きていくことの楽しさを伝えたい

ご近所の駄菓子屋が閉店する際にその店主や駄菓子屋の閉店を残念がる子どもたちの勧めもあって、2018年から三輪車での移動式駄菓子屋「すいすい」を週1回実施。駄菓子屋の「オジサン」として、小学校区の範囲で場所を変えながら三輪車を止め、子どもたちが集まる場を作っています。子どもたちのお小遣いでも楽しめるよう10円～40円の価格帯の駄菓子を多く扱い、しかもお金がなくてもじゃんけんで勝ち抜けば駄菓子が獲得できるなど工夫して、子どもの来るきっかけづくりをすることで、「何もないんじゃない、みんなで作れる、楽しめる」という、生きていくことの楽しさを伝えたいという思いがあること、また子どもたちが話すことを否定せず聞くことで子どもの自己肯定感を育むのではないかと話してくれました。

④川越市市制施行100周年記念事業に「カワイイ活動」を登録

自宅近くを流れている九十川で、週1回1時間の清掃活動を2021年からス

タート。水辺を楽しく、美しく、しかもいつもの生活の延長として今一度みんなで川に目を向ける啓蒙活動として始めました。

この活動が伝わった県からSAITAMAリバーサポーターズプロジェクトのお声がかかり、一員として情報共有しているところ。どの分野、どんな環境でも、今までやってきたことをうまく活かせるのではないかと考えていて、市・県・いろいろな関係性の人たちの集まりであるこのプロジェクトでも、何かが動きだそうとしている…と期待高まるお話でした。

感想

それぞれの活動がみな魅力的で、その活動内容に大いに共感するものでしたし、仕事なのか趣味なのかという切り分けができない、すべてが荒木牧人さんという人物の多様性が表出されているものと感じました。

荒木さんの活動の根底は「みんなにとってよい活動」であることが共通項で、その活動の場がそれぞれのコミュニティということが理解できました。しかも本人がどの活動においても楽しく活動しています。例えば、カワイイ活動においては、水辺にはないはずのベッドや自転車といったごみを片付けるときには、楽しいのとは真逆の感情が湧きたつものの、その感情と冷静に向き合

い、ごみを拾っているのではなく“情報”を拾っているという発想の転換をすることで感情をもコントロールしていました。そういった思考の柔軟性があるからこそ、みんなにとってよい活動を楽しく続けていけるのかもしれませんが。

かわごえ環境ネットも会員のみなさんがそれぞれに多様な活動をしています。その活動がさらに続くヒントとなる話を荒木さんからお聞きすることができ、実りある時間でした。荒木さんの講演録画は、かわごえ環境ネットホームページからアクセスできます。見逃した方はぜひご覧ください。(飯島希)



午後の部 会場の様子



荒木牧人さん(収録した動画から)

アンケート『あなたの夢・小さなアクション・楽しさは何ですか? みんなで「SDGs 未来都市」を考える』

ワークショップとして「あなたの夢・小さなアクション・楽しさは何ですか?」をテーマに川越の未来、SDGs 未来都市について語り合うことを予定していましたが、新型コロナ感染状況から、ワークショップをアンケート形式に変更し、その結果を報告します。

回答の概要

アンケート回答は全部で19名ありました(主な回答はかわごえ環境ネット「note」に掲載します)。アンケートの設問①「あなたは、現在住んでいる街が、将来、どのような街になってほしいと思いますか?」に対する回答で、共通してみられたキーワードが、自然・緑・居場所・つながり・歴史と文化・昔ながらの風景・子ども。アンケートの設問②「その街が思い描いた将来の姿になるように、あなたはどのような行動をしていますか、また、してみたいと思いますか。」に対する回答では、場所づくり・保全

活動・年長者から語り継ぐ・支援がキーワードになると思います。

回答のキーワード

アンケートに回答いただいたキーワードは、講演でお話いただいた荒木さんのコミュニティ活動で出てきたキーワードと共通しており、個々のみなさんがいるコミュニティにおいて、語り合い、活動していることがそのまま住む街の未来像につながっていると感じました。“今”やっていることを毎日コツコツと続けること、それが過去となり、未来を作ることになるのだという認識を持ちました。

些細な行動が街を形作るアクションに

どんな街にしたいか、そのために何をしなくてはいけないのか…という考えを抱くより、今を楽しく仲間と過ごし、その姿を次世代に見せ、共に語りあうこと、声を掛け合うこと、そんな些細な行動がむしろ街を形作る根っことなるアクションなのかもしれません。何か

新しいことをするというのであれば、声をかける人を一人増やす、やっていることを声に出す、そうやって仲間を増やし共有していく“何か”を認識していくことで、数年後にはコミュニティの輪が広がり、コミュニティの連携につながっていくのかもしれませんが。

アンケート結果を見て改めて、何かを新しく始めようと欠けている部分にフォーカスするのではなく、今すでに在る部分にフォーカスし強化していくことの方が有益で、楽しく継続していけることだと感じました。

今回のかわごえ環境フォーラムにおいて、荒木さんの講演の内容とアンケート結果から、ご自身の日々の過ごし方を肯定したりアクションを始めるきっかけになれば幸いです。ぜひかわごえ環境ネットの活動や関連団体の活動にご参加いただき、日々楽しく、そして未来を楽しみましょう。(飯島希)

川越を再確認し、情報を発信

私は昨年、小さな出版社「仙波書房」を起業。川越市仙波町出身ということで、「仙波」の地名を付けて命名し、出版活動を行っている。

記念すべき1冊目は、出身地である川越に存在する建物をテーマに企画検討を行った。起業前に知人と企画について相談する機会があり、その際に手厳しい言葉があった。それは、私が川越について勉強不足だということを強く指摘される。川越に30年住み、川越については熟知していたつもりであったが、実際のところ、何も知らないということを痛感した。

このことを契機に川越の歴史、文化を再確認するために、多くの資料を読み、多くの人に会う機会をつくり、積極的に川越を知るように自らを変える。調べた情報を元に、地元の人々の話を肉付けし、人々による経験が加わることで、情報はよりリアルに昇華していく。

人との出会いも、人が人を呼び、輪が広がっていくことを実感。

そして、今度は集めた情報をやさしく

要約し、本にして発行。出版社として本の発行だけではなく、川越の建物本と連動したイラスト原画展、対談、街歩き、ツアーガイドなどを行うことで、さまざまなイベントでも集めた情報の発信を行う。そのような複合的な出版活動を現在も続けている。

「川越市環境行動計画」を一読

さて、図書館で平成29年川越市発行の「川越市環境行動計画」を手にとった。こちらには、様々な立場の方が共働で「みんなで作る自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」の実現をめざし活動を行ってきたのが、「かわごえ環境ネット」と冒頭に記されている。

一読することで、「かわごえ環境ネット」の活動方向を再確認することができ、私は勘違いしていたことに気付く。

これまで参加してきた活動内容から、「自然共生」、「安全・安心」という環境目標に目が行きがちであった。しかし、私の行っている川越を調べ、川越の魅力をわかりやすく紹介するという出版社の活動も「地域づくり・人づくり」のテーマ

内に「歴史と文化を生かした地域づくり」とあり、私も協力できることがあるかもしれないということを確認するよい機会にもなった。

先ほどの「川越市環境行動計画」内には環境に配慮した行動(チェックシート)の項目があり、「地域の歴史や文化に興味を持つ」という項目も含まれている。川越の建物本を通し、建物の背景となる川越の歴史や文化を紹介することで、多くの人に建物、川越を知ってもらうことができる。

今後も会での活動に加え、出版活動を通し、川越の歴史・文化を発信する機会を多く提供し、川越市のよりよい環境づくりに貢献していきたい。

(神谷利一)



『川越市環境行動計画』発行：川越市
『川越の建物 近代建築編』発行：仙波書房 発行予定中
『川越の建物 風通り編』発行：仙波書房 2022年発行
「川越市環境基本計画」と「川越の建物」の表紙

【自然環境部会】自然を訪ねて (3) 世代をつなぎ、子どもが取り組む地域の環境問題

ふくはら子どもエコクラブの活動

ふくはら子どもエコクラブは活動を始めて10年になります。楽しみながら環境問題で体験的に取り組む活動を続けてきた「地域こどもエコクラブ」です。環境問題は多様にあります。基本は地域に根差した環境問題に関心を持ち、これに取り組むことが大切だと思います。

活動の基盤は川越市の福原で、雑木林をフィールドにして年間計画を作成し、子どもたちの興味と地域の課題を考えて体験的な活動にしています。

この活動は、「循環型農業の支援」と「雑木林などの自然の多様性」を遊びながら体験することです。そのためには、雑木林をよく知り、これを守り、活用することが大切です。行った活動は、①「くずはき」、下草刈り、枯れ木処理など伝統的な管理の実施、②循環型農業で栽培された野菜を活用した豚汁、地産地消のサツマイモやお米を用いた食育の実施、③雑木林や不老川の生きもの調査、④林の中でのキャンプ、

奥武蔵へのハイキング、⑤県や市での活動発表と多面的な活動を多くの人の応援を得て楽しく実施してきました。

見つけた雑木林の生きもの

1年間を通しての活動で、雑木林の生きものを10年間にわたり観察して、11目73科で233種の昆虫を見つけました。毎年見かける昆虫に加えて、アオマダラタマムシ、ヤマトタマムシ、そして樹液に集まるノコギリクワガタ、オオスズメバチ、ルリタテハなどを観察しています。また不老川ではアユの遡上を確認し、大きなアカミミガメを捕まえました。もちろんオオタカの営巣も確認し、キンランなどの貴重植物も見つけ、約1万m²の狭い林にも豊かな生態系が保たれていることがわかってきました。

この雑木林を守るために、モウソウ竹のタケノコを収穫して竹が林に広がるのを事前に防ぎ、枯れ木を集め焼却し、シノ竹を刈って「くずはき」をしやすくし、昔ながらの雑木林の維持と生態系保全に取り組みました。

地域の環境を豊かにする活動

世代を受け継ぎ行ってきた小さな活動の積み重ねで、雑木林の自然が守られ、その自然に依存している植物や動物、野鳥、昆虫などが継続して生息することができます。それが地域の環境を豊かにしています。

今年は、SDGsを意識して日ごろ子どもたちが取り組んでいるエコ活動を報告する交流会を開きました。また、雑木林を再生するために、コナラなどの植林も取り組みました。ささやかな取り組みですが、70人近くの子もたちが「こどもエコクラブ」を卒業しました。未来の地域の環境を考える一助になれば継続してきた意味があるのかもしれない。(ふくはら子どもエコクラブ 過昌司)



雑木林で遊ぶ 不老川の生きもの調べ

【参加者募集】「川越市内の川の一斉水質調査」6月5日(日曜日)実施

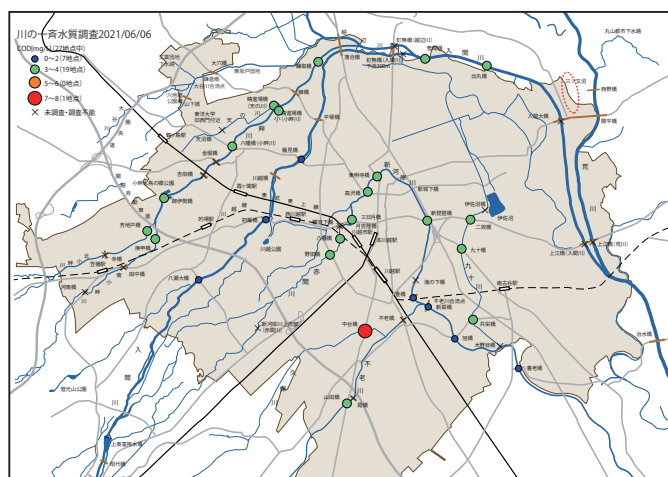
毎年6月第1日曜日に全国で「身近な水環境の全国調査」が行われています。川越市ではかわごえ環境ネットが川越市内の川の一斉水質調査として主に担当していて、今年は6月5日(日)午前に行います。

参加を希望する方は、5月13日(金)の社会環境部会・自然環境部会において参加の旨をお知らせいただくか、5月26日(木)までにかわごえ環境ネット事務局(本紙最終ページに連絡先を掲載)までご連絡ください。

また、本会総会開催前の5月28日(土)9:30-10:00に説明会を開催しますので

総会会場に直接お越しください。

2021年の調査地点(27地点)とCOD(化学的酸素要求量)の結果は地図の通りです。分担を決めて調査ポイントで採水して、北公民館(川越市氷川町107)に持ち寄って簡易キットを使ってCODなどを測定します。



2021年6月6日の川越市内の川の一斉水質調査(COD)結果

【参加者募集】「夏の郊外クリーン活動」7月18日(月曜日・海の日)実施

夏の郊外クリーン活動のお知らせ

かわごえ環境ネットでは年に4回のクリーン活動をしています。多くの方の参加をお待ちしております。

日時 2022年 7月18日(月)

行程 9時30分「やすらぎのさと」入口に集合
(川越市大字小仙波867-1)
トングとごみ袋を配布後、グループ毎に活動を開始
11時30分「やすらぎのさと」で分別し解散

この活動は感染症対策対応で実施いたします。
①参加者の体温測定の実施
②アルコール等を使用した消毒の実施
③マスク着用
④ソーシャルディスタンスの励行

参加申込 7月1日(金)午前10時～ 電話で環境政策課に ☎ 049-224-5866

当日の連絡先 菊地 ☎ 080-5546-2362

メール kikums@beige.ocn.ne.jp



1冊 700円
頒布中
当日お買い求め
が出来ます。



かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課
☎ 049-224-5866 (直通)



かわごえ環境ネットでは、春夏秋冬に年4回のクリーン活動をしています。夏は7月18日(月)に活動を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

実施概要

日時:7月18日(月・海の日) 9:30-11:30

場所:川越市民聖苑やすらぎのさと
(川越市小仙波867-1)

参加申込

7月1日(金)10:00から電話で環境政策課(Tel.049-224-5866)に連絡

当日の連絡先

かわごえ環境ネット 菊地

携帯電話番号 080-5546-2362

E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

今後の予定

「秋のクリーン活動」は10月15日(土)、「冬の川越 中心市街地 歳末まち美化活動」は12月18日(日)を予定しています。

新訂版『川越の自然』を当日有料頒布

夏のクリーン活動の当日、2021年2月に発行した『新訂版 川越の自然一雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて』(A5判、180ページ、フルカラー)を700円で頒布します。ぜひお買い求めください。



理事会・事業運営委員会

報告

2月16日(水) 2021年度第11回

①第20回かわごえ環境フォーラムの開催方法についての検討、②レンタルサーバとドメインの継続、③今後の運営体制についての検討、④11月開催予定の2022森フェスin川越」の進捗状況報告

3月16日(水) 2022年度第12回

①総会の期日決定、場所の見通し、キャストティングの検討、②次期理事の立候補状況の確認、③(仮称)川越市森林公園計画地の現地配布用パンフレット製作提案(予算計上する)

4月13日(水) 2022年度第1回

①今後の組織体制について検討を継続、②2022年度全体事業計画の確認、③総会会場とキャストティングの決定、④総会議案書の確認:書面審議で確定。同日現在の会員数は個人141、民間団体24、事業者25、行政1の合計191。

(小瀬博之・横山三枝子)

予告

◆**事業運営委員会** 日時:5月18日・6月15日(水) 9:00-10:00 場所:福田ビル川越市郭町1-2-3)3階会議室

◆**理事会** 日時:5月18日・6月15日(水) 10:00-11:30 場所:福田ビル3階会議室

★**水質調査説明会** 日時:5月28日(土) 9:30-10:00 場所:川越市立博物館(川越市郭町2-30-1)視聴覚ホール近く

●**総会** 日時:5月28日(土) 10:00-11:30 場所:川越市立博物館視聴覚ホール

社会環境部会

報告

3月11日(金)13:00-15:00(参加者6名)・4月8日(金)13:00-15:00(参加者5名)に福田ビル3階で例会を開催。

協議事項

・2022年度の活動計画について、例年通り、10月から12月の期間に環境講演会の実施、アースデイ川越への出席を予定。新規活動案として、SDGsに関連したワークショップの企画、脱炭素社会に関する啓発冊子の作成などの案について検討。

・川越市市制施行100周年事業の提案型補助事業に採択された「2022森フェスin川越」についての情報共有と社会環境部会のブース設置に関する意見交換。
・コラム「社会と環境について思うこと」

の継続を通じて、身近な環境問題や自然保護に関する意識の啓発。

・かわごえ環境ネットの全体事業にあたるクリーン活動や川の一斉水質調査などのスケジュールの確認。

(社会環境部会代表 増田知久)

予告

●**社会環境部会**(毎月第2金曜日開催) 日時:5月13日・6月10日(金)13:00-15:00 場所:福田ビル3階会議室

*会員は予約なしで参加可

自然環境部会

報告

3月例会は11日(金)、4月例会は8日(金)福田ビル3階にて開催

1.活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動2月14日(月)15名参加、2月28日(月)20名参加 黒田慶子氏「ナラ枯れ」のYouTubeを視聴し勉強会、3月14日(月)20名参加 巣箱の点検、3月28日(月)19名参加 林内一周し春の植物調査

②池辺公園定例活動3月8日(火)9名参加 アズマイチゲの開花数調査(今年は10花程度)、樹木に巻き付いたキツタを切る(30本)

2.協議事項

①来年度の事業計画、役員について話し合い。

②ナラ枯れについて今年度対策をしたが、被害木は増えている。今後の取組について意見交換。

③埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部が会員に加入。共催イベントなどについて意見交換。

(自然環境部会代表 賀登環)

予告

★「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日) 日時:5月9・23日、6月27日、

7月11・25日(月) 9:30-12:30 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2) 注:6月13日は片倉城址公園(八王子市) 観察会に振り替え、問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★**池辺公園定例活動**(毎月第2火曜日) 日時:5月10日・6月14日・7月12日(火) 9:00-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302) 問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★**社寺林の観察会** 6月18日(土) 9:30-12:00 喜多院・中院の樹木観察 費用:200円

★**キノコの観察会** 7月10日(日) 9:30-12:00 「(仮称)川越市森林公園」計画地 費用:200円

上記2件の観察会の問い合わせ:賀登(049-234-9366) 申込:環境政策課(049-224-5866) 広報川越6月号参照

●**自然環境部会**(毎月第2金曜日開催) 日時:5月13日・6月10日(金) 15:00-17:00 場所:福田ビル3階会議室

*会員は予約なしで参加可

広報委員会

募集

報告・予告・おしらせの原稿

2022年7・8月号(No.186, 7月1日発行)の原稿は6月8日(水)が提出期限。

原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方はかわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出を。

予告

◆**広報委員会** 日時:5月11日・6月8日・7月6日(水) 9:00-9:30 場所:オンラインミーティング(アクセス方法は委員に別途案内)(広報委員長 小瀬博之)

「2022森フェスin川越」 実行委員会

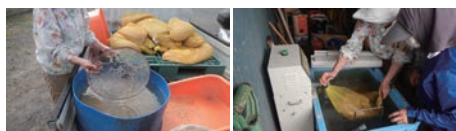
川越市市制施行100周年事業の提案型補助事業にかわごえ環境ネットが主催する「2022森フェスin川越」が採択されました。この事業では川越でも有数の自然豊かな場所である「(仮称)川越市森林公園計画地」及び川越南文化会館を活用して、自然や農業の魅力を感じてもらおうイベントを予定しています。本イベントの実施に向けて3月24日に川越南文化会館で第1回実行委員会を開催しました(参加者7名)。イベント日程は11月19日(土)、プログラム案としては、森の散策、ネイチャーゲーム、森のマルシェ、絵本の読み聞かせ会、野菜の収穫体験、森のコンサートなどのアクティビティを予定しています。多くの人に参加いただき、川越に残る自然の魅力を感じていただけるよう今後も協議を重ねていきます。(増田知久)

NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

近況報告

今年も環境保全型農業が始まりました。3月27日、良質な種もみを選別するために、塩水選で浮いた種を除去し、その後、温湯消毒で60℃7分間のお湯に浸し、種もみを消毒しました。



2022年度会員募集のお知らせ

入会希望の方はお名前(ふりがな)、ご住所、電話・Fax、メールアドレスを記入し、hatsukarinosato@googlegroups.comにお申し込みください。振込先等お知らせします。入会金1000円、年会費2000円です。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

HP <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

福原ファームクラブ

横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

予告

◎**おいしく、楽しく農業体験** (毎月第2土曜日) 5月14日(土)・6月11日(土) 9:30-12:00 ころ 場所: 明見院(今福677) 近くの畑 作業内容: 大根畑の片付け等 会費: 年間1家族1,000円(お土産はB級野菜たっぷり)

福原の広い畑で農家のお手伝いです。片付けがメインですが、運搬車に乗ったり虫を探したり土に触れて過ごします。



川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告「手入れの済んだ林で」

3月9日、動力班による混みすぎた照葉樹や枯木の伐採が終わり、数か月かけ残したい樹々に結んだたくさんのテープを外すと、林は落ち着きを取り戻した。テープを付けたのは未だ細い樹々だ。柳沢吉保が飢饉に備えて植えさせたりヨウブ、春一番にピンクの花とかわいい実をつけるウグイスカグラ、おいしいガマズミ、ムラサキシキブ、白いブラシのような花のウワミズザクラ、冬芽がルビーのようなイヌザクラ、冬でも葉を落とさないヤマコウバシ、白い花のエゴノキ、サワフタギ、ネジキ、コゴメウツギ、鮮やかな赤い実のツルウメモドキ他、雑木林は多彩である。

「江戸時代から、大きくなった木は根元から切り萌芽更新を図りながら、落ち葉を畑の肥料として使うためにくずはきをして維持してきた林だが、今は木材の需要もなくなり人手不足で手入れもままならない。「実や葉を採って食べたり遊んだりした林を保全していただけてうれしい。」とたまたま居合わせた方が仰った。

刈り取ったアズマネザサや伐採した木を数か所に積み上げ、一番上に30kgぐらいの古木を置く。こうすると微生物が積み上げた物を早く分解して土壌が豊かになり、それらは次世代の植物の養分になりやすいのだそうだ。陽が入ることにより今まで眠っていた種が目覚ますかもしれない。長年にわたり伐採による萌芽更新がなされなかった林は今、ナラ枯れの危機にさらされている。「ここからひこばえが出ればコナラは再生できるんですよ。」切り株を指差し、動力班の方が目を細めて言う。「しっかり再生してコナラも復活して元気な森が残っていけばよいですね。」そんな会話を聞きながら明るくなった林で陽樹のコナラが笑っているように感じた。土の良い匂いがした。(藍谷理恵子)

活動風景



活動風景

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地 雑木林の手入れ 5月11日・7月13日(水) 8:30-12:00 集合: 川越南文化会館(ジョイフル) 動力班と手作業班で効率よく、

6-8ページの記号凡例 ★: 本会主催・後援等一般公開行事 ●: 本会会員対象行事 ◆: 本会理事・委員対象会合 ◎: 本会会員等主催のイベント等 ○: その他(個別記事参照)

かつ植生に配慮した手入れを実施。奇数月の第2水曜日が活動日。

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

予告

◎**伊佐沼でバードウォッチング** (毎月第2日曜日、雨天中止)

集合: 10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、持ち物: 筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物、参加費: 一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

① 5月8日(日) 10:00-12:00 北へ帰るオオヨシキリやその他の夏鳥を観察します。② 6月12日(日) 10:00-12:00 子育ての季節です。カイツブリは浮巣で抱卵中、コアジサシは杭の上で求愛給餌をしています。静かに観察します。

個人会員からのお知らせ

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

予告

◎**かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」** 会場: 高階南公民館1階会議室1号(川越市藤原町23-7)、参加費: 無料

① 5月19日(木) 10:00-12:00 「電気料金について」暑くなる前に、暑さ対策と健康のためにできることを準備しよう。持ち物: 直近2~3か月分の電気・ガス・水道の料金票。② 6月15日(水) 10:00-12:00 「生ごみの活用術」ちょっとした工夫や調理の仕方、ごみを減らそう。

かんきょうサロンでは、参加された方みなさんと環境や暮らし方、家族の健康について井戸端会議のようにお話ししています。すぐに始められて、お金もかからない、健康でエコなおしゃべり会。

行事に関する重要なお知らせ

新型コロナウイルスの感染状況等により、かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、本会ホームページ (<https://kawagoekankyo.net>) でお伝えします。会員等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

2022年5月

1	日	
2	月	
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	◎ 10:00 伊佐沼でバードウォッチング
9	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
10	火	★ 9:00 池辺公園保全活動
11	水	◎ 8:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ ◆ 9:00 広報委員会
12	木	
13	金	● 13:00 社会環境部会 ● 15:00 自然環境部会
14	土	◎ 9:30 おいしく、楽しく農業体験
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
19	木	◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」 ○ 「川越市内の川の一斉水質調査」参加連絡期限
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	★ 9:30 「川越市内の川の一斉水質調査」説明会 ● 10:00 総会
29	日	
30	月	
31	火	

2022年6月

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	★ 午前 川越市内の川の一斉水質調査
6	月	
7	火	
8	水	◆ 9:00 広報委員会 ○ 本紙7・8月号原稿投稿期限
9	木	
10	金	● 13:00 社会環境部会 ● 15:00 自然環境部会
11	土	◎ 9:30 おいしく、楽しく農業体験
12	日	◎ 10:00 伊佐沼でバードウォッチング
13	月	★ 片倉城址公園観察会
14	火	★ 9:00 池辺公園保全活動
15	水	◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
16	木	
17	金	
18	土	★ 9:30 社寺林の観察会
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
28	火	
29	水	
30	木	

かわごえ環境ネットインターネットアクセス (QRコード)



ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



note

会員のインターネットアクセス (QRコード)



かわごえ里山イニシアチブ



こもれびの森・里山支援隊

ホームページに「活動の手順書・手引書」を整備します

かわごえ環境ネットホームページに「活動の手順書・手引書」のカテゴリを作成し、本会の活動を進める上で必要な資料を適宜掲載していきます。

最初の文書として「クリーン活動について」の手順書を公開しました。

「活動の手順書・手引書」

<https://doc.kawagoekankyo.net>



おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。